

## 平成 30 年度 第 2 回地域医療構想調整会議議事録（概要）

日時：平成 30 年 12 月 12 日 19:45～21:00

場所：保健所 第 1 研修室

参加者：委員

松本 雅彦（議長）、登坂 英明、森 泰二郎、林 承弘、安藤 昭彦、百村 伸一、加計 正文、藤岡 丞（代理）、黒田 豊、吉田 武史、西村 直久、丸山 泰幸、窪地 淳、新井 一（オブザーバー）

埼玉県庁担当者

保健医療部；参与、保健医療政策課；課長、副課長  
医療整備課；主幹、主査 外

事務局

保健福祉局長、理事、部長、保健所長、課長 外

プレゼンテーション医療機関（7 医療機関）

埼玉県立小児医療センター、順天堂大学医学部附属埼玉国際先進センター（仮称）、さいたま岩槻病院、カリヨンの杜、大宮共立病院、岩槻中央病院、わかくさ病院

※注：事務局で適宜、表現を整理しています。

### 【協議内容】

#### 議題（1）病院プレゼンテーションについて

事務局から資料 1、2 に基づき、病院プレゼンテーションのルールや注意事項等を説明後、資料 1 の順で病院がプレゼンテーションをし、各プレゼンテーション終了後、質疑応答を実施。

#### ○埼玉県立小児医療センター

資料 3 の「埼玉県立小児医療センター」を用いて説明

#### ○順天堂大学医学部附属埼玉国際先進センター（仮称）

資料 3 の「病院説明書」を用いて説明

(質疑応答)

Q 計画書の中の「特徴的な医療機能」に、救命救急機能とある。さいたま市では、すでに救命救急センターがさいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センターの2施設あり、さいたま市立病院も救命救急センターを検討している。人口130万の中で、4つ目の救命救急センターとして活動することについて、どのように考えているか。

A 県の指導を受けながら、実状にあわせた対応を考えていきたい。

Q スケジュールが全く分からないので、おおまなかスケジュールを教えてください。

A 県と市と協議をしているところであるので、明確なことは言えないが、これだけの病院なので、基本設計に1年、着工して2年程度の建設期間が必要であり、仮に来年からスタートしても3年はかかることになると思う。

Q 基本設計はまだか。

A まだである。

Q 医療従事者の採用計画において、ご配慮いただきたい。

A 主に看護師のことだと思うが、千葉の浦安と静岡の三島に、2つの看護学部があり、毎年300人を超える卒業生が出ている。看護師の供給に関しては、その卒業生でまかなっていききたい。また、一部は既存病院の中の看護師で対応できる。いずれにせよ、地元には迷惑をかけないように、対応していく。

Q どのようなかたちで、医師派遣を考えているか。

A 県と相談しなければならないが、聞くところによると、県の北部(北東部)に、特に少ないエリアがあり、新しくできる病院をハブとして、定期的にローテーションし、若いもしくは中堅の医師を派遣していきたい。ただ、現時点で具体的なことは話せない。

○さいたま岩槻病院

資料3の「病院説明書」を用いて説明

○カリヨンの社

資料3の「病院説明書」を用いて説明

- Q 何歳までが適用になるのか。また、在宅だと、一度利用すると、またそこでやってほしいという方が増えてきてしまうのではないか。あと、地域は、埼玉県全体をカバーするという事か。
- A 施設の基幹法規が児童福祉法であるため、入所施設は18歳を原則としているが、なかなかそうもいかない。成人施設等と連携を図りながら、しっかりとした行き先が決まるまでは、診ていきたいが、様々な制約があるので、頭を悩ませている。地域については、基本的にはさいたま市中心と考えている。荒川の向こう側の西部地域と小児の人口が約2倍違い、埼玉医大その他の施設にまかせている。

○大宮共立病院

資料3の「病院説明書」を用いて説明

○岩槻中央病院

資料3の「病院説明書」を用いて説明

- Q 病床種別で言うと、地域一般入院料3は、一般病床ではないのか。参考資料3によると回復期病床（一般病床）でいいと思うが、県に確認されたい。
- A 県に確認することとする。

○わかくさ病院

資料3の「病院説明書」を用いて説明

- Q 訪問診療を行うドクターは何人ぐらいいるか。
- A 小児科も一部やっているが、主に常勤医師が3名、非常勤医師が約15名いて、毎日往診に14, 5件ぐらい行っている。

**議題（2）有床診療所（産婦人科）の開設について**

①届出有床診療所概要について

埼玉県医療整備課より、資料4を用いて説明

②事前協議計画の概要書の説明について

開設予定者より、資料5を用いて説明

- Q 計画の中で、分娩数に対して、常勤1名、非常勤1名では、なかなか厳しいのではないかと思うが、非常勤の先生が例えば週1で来るという話なのか。それとも、非常時（緊急帝王切開等）に、すぐ来れる先生のことなのか。

A 人数に関しては、初年度の人数で、以前、ほかのクリニックで立ち上げから2人でやったことがあるが、初めの1年間はほとんど患者が見つからない。そのため、翌年度から増やすことになっている。非常勤の先生は、まだ完全に話を詰めていないが、常勤も検討してもらっている。

Q 最初から、分娩を月70件やるというわけではないということか。

A 過去の経験からすると、だいたい2年ぐらいで飽和してくるイメージである。最初の頃は、月10件もない月が続くと思う。

(以上)